

ぎょうむそくほう

No.707

2026年4月30日

東海旅客鉄道労働組合

<https://www.jrtu.jp>

【ダイジェスト】



「ハートフルカンパニービジョン ⇒2027」の取り組み推進!



Japan-Railway-Tokai-Workers-UNION / Japan-Railway-Tokai-Workers-UNION / Japan-Railway-Tokai-Workers-UNION

経営懇談会を開催

2025年度期末決算について議論

過去最大の運輸収入! 過去最高の連結・単体での経常利益・当期純利益!

Japan-Railway-Tokai-Workers-UNION / Japan-Railway-Tokai-Workers-UNION / Japan-Railway-Tokai-Workers-UNION

4月30日、「2025年度(2026年3月期)期末決算」について経営懇談会を開催した。冒頭、会社から、この一年を振り返り、大阪・関西万博輸送をはじめ、組合員の各種取り組みにおける努力と成果に対し、感謝が示された。

決算概況として2025年度の運輸収入は、大阪・関西万博の開催に伴うご利用増や訪日外国人のご利用増等により増収となり、過去最大となった。また、グループ会社についても増収となり、連結営業収益は増加した。営業費については、当社の物件費やグループ会社における売上原価の増等により増加したが、増収・増益の決算となったことを確認した。

次期については、大阪・関西万博の開催に伴う増収効果がなくなることや、労務費等の上昇に伴う費用の増を織り込んで減収・減益の予想となっている。

厳しい経営環境が続くが、引き続き、鉄道の原点である安全の確保を最優先として日々の業務に取り組み、その上で「業務改革」と「収益の拡大」の2つを柱とした経営体力のさらなる強化に取り組んでいく方針が示された。

また、中央新幹線計画については、工事着手から10年以上が経過し、品川・名古屋間の全線に工事が拡大するなかで、より効果的にプロジェクト管理を実施し計画の推進力を高めるため、定期異動に併せて中央新幹線推進本部の体制を強化する予定であることが示された。

JR東海ユニオンは、様々な課題の解決へ向けて、主体的に取り組んでいく。

□2025年度(2026年3月期)期末連結決算の概要

	実績	前年度との差異	前期比
営業収益	2兆 62億円	+1,743億円	109.5%
営業費	1兆1,760億円	+469億円	104.2%
営業利益	8,301億円	+1,273億円	118.1%
経常利益	7,809億円	+1,316億円	120.3%
親会社株主に帰属する当期純利益	5,528億円	+944億円	120.6%

※確認内容の詳細については、後日発行の「ぎょうむそくほう」をご確認ください。